

平成23年8月22日

## 平成23年度 地震防災訓練の実施について

9月1日の防災の日を中心に防災週間（8月30日～9月5日）において、全社的に地震防災訓練を実施します。

訓練の実施にあたっては、東日本大震災を踏まえ、津波を想定した避難誘導訓練や、携帯電話等、通常の情報収集手段が使用できない場合を想定した情報収集・伝達訓練など、より実践的な訓練を行います。

1. 訓練日 9月1日の防災の日を中心とした防災週間（8月30日～9月5日）

2. 主な訓練内容（詳細別紙ご参照）

（1）対策本部運営訓練

（2）情報収集・伝達訓練

（主な訓練概要）

- ・地震発災後に、NTT固定電話、携帯電話、列車無線などが使用できないことを想定し、各種情報ツール（衛星携帯電話など）を使用し、情報収集・伝達を行う訓練
- ・地震発災後を想定し、被災状況把握のために、ヘリコプター・衛星通信等を活用した訓練

（3）避難誘導訓練

（主な訓練概要）

- ・津波警報発令や地震発災後において、列車内のお客様および、駅のお客様を避難誘導する訓練

（4）災害復旧訓練

（主な訓練概要）

- ・脱線復旧訓練、軌道及び電気設備復旧訓練

3. 参加人員 約12,900人

4. 広報活動

- （1）駅構内及び新幹線・在来線車内にて、地震防災訓練の案内放送を行います。
- （2）主要駅構内にて、東海地震の警戒宣言発令時における協力を呼びかけます。

## 1. 対策本部運営訓練及び情報収集・伝達訓練

本社及び鉄道事業本部等に対策本部（本社対策本部（丸の内中央ビル）、東海鉄事対策本部、新幹線鉄事対策本部、静岡支社対策本部、関西支社対策本部）を設置し、情報収集、指示等の対策本部運営訓練を実施します。

この訓練では、東日本大震災を踏まえて、携帯電話、N T T固定電話等が使用できないことを想定して、情報収集する訓練も実施いたします。

また、新幹線が被災したことを想定して、ヘリコプターを東京から静岡（富士川）まで飛ばし、ヘリコプターで撮影した映像を衛星通信を用いて、本社対策本部まで配信する訓練も実施いたします。

## 2. 主な避難誘導訓練及び災害復旧訓練等

### ○紀伊長島駅

津波警報発令時において、指令との通信ができないことを想定し、紀伊長島駅手前で停車した列車内の旅客を、乗務員の判断により避難箇所まで誘導する訓練を行います。（9月1日）

### ○名古屋車両区

地震発生により、駅間で列車が緊急停車したことを想定し、列車内の旅客を避難させ、負傷者の救出・搬送する訓練を行います。（9月1日）

### ○伊那松島運輸区

地震発生により列車が駅中間に緊急停車し、指令との通信ができないことを想定し、乗務員の判断により列車内の旅客を避難させる訓練を行います。また、消防と連携を行い、救急隊による負傷者救出訓練も併せて行います。（9月1日）

### ○浜松工場・大井車両基地

地震発生により、新幹線が脱線したことを想定し、横送り装置を使用して脱線車両を復旧する訓練を行います。（浜松工場：9月1日、大井車両基地：9月1日）

### ○新幹線施設・電気現業機関

地震発生後の安全確認を想定した軌道用自動自転車（アルミカート）の取扱い訓練、緊急自動車の取扱訓練、地震により被害を受けた保守用車を救援併結する訓練等を実施します。

（8月30日～9月5日の間に実施）

○沼津駅

地震発生により、車両が脱線し、周辺設備が損壊したことを想定し、復旧訓練を行います。（9月1日）

○清水駅

津波により、自治体から避難指示が出された場合を想定し、自治体と連携して列車内の旅客を避難箇所まで誘導する訓練を行います。（9月1日）

○旅客避難誘導訓練実施箇所（主な箇所）

東京駅、品川駅、新横浜駅、京都駅、新大阪駅、豊橋駅、岐阜駅、美濃太田駅、多治見駅、桑名駅、紀伊長島駅等で行います。